

質疑回答書

業務名：「未来つながる宇和島」配信・サポーター業務

No.	該当資料名及び項目	質問	回答
1	仕様書 1頁・2 目的	県外に進学する若者（本人）と、保護者や地元の友人（サポーター）への“二方向からのアプローチ”とありますが、これはターゲットごとに異なる2アカウントを用意するという意味ではなく、1アカウントで異なるターゲットにアプローチするということでしょうか？ もしくは、利用するSNSを属性に応じて使い分けても良いという意味でしょうか？	お見込みのとおり、市が所有する1つのアカウントで異なるターゲットにアプローチするものです。5種類のSNSを属性に応じて使い分けることも可能です。
2	仕様書 2頁・4 業務内容 (2) デジタルマーケティング業務	数値目標を“年間600件”とありますが、 ・県内の高校生（生徒数）総数 ・県外への進学者数 ・進学先（地域）がわかれば（単年度でも良いので）教えてください。	概算になりますが、県内高校生の総数は、県立約21,000人、私立約4,000人（令和6年度）です。県内高校生の県外への進学者数、進学先につきましては把握しておりません。 市内高校生に関しますと、令和6年度市内高校卒業生は588人、市外への進学者数は466人（うち県外288人）、就職等で市外に出る方が80人（うち県外47人）です。 なお、数値目標の「600件」の根拠は、市内の高等学校卒業生の概数です。
3	仕様書 2頁・4 業務内容 (3) イベント開催業務	宇和島市内から関西圏の学校への進学者数がわかれば教えてください。	当市から関西圏への進学者数は把握しておりませんが、市外に進学した大学生等へ送付している「ふるさと小包」の送付先としては関西圏は全体の約23%で、四国に次いで多いことがわかっています。（令和6年度）
4	仕様書 1頁・4 業務内容 (1) 情報配信業務 ①配信内容	メインコンテンツの「若者が憧れるような宇和島での新しい働き方やライフスタイルの特集」について、「人へのインタビュー」でなくても良いのでしょうか？またインタビューの場合、移住者である等取材先として条件はありますか？	メインコンテンツの特集は「人へのインタビュー」が必須ではありません。しかしながら、働き方、ライフスタイルの魅力を伝えるには、そこに関わる人の考えや生き方が重要かと考えておりますので、この点を踏まえてご提案ください。また、インタビューの場合、取材相手に条件はありません。
5	仕様書 2頁・4 業務内容 (3) イベント開催業務	開催場所を大阪市内とされた意図は何ですか？	これまで東京でイベントを行っていましたが、本業務のアカウントのフォロワー属性や前述のふるさと小包の送付先等を分析した結果、関東圏よりも関西圏の方がターゲットが多く居住していることから、今年度は関西圏を選定しました。